

いま、士幌高校では

3月1日には第6回卒業証書授与式が行われました。また、3月5・6日には一般入学者選抜が行われました。出願者の状況については、次のように19名となっています。

<再出願後の出願状況(2月26日現在)>

	推薦内定	実募集人員	出願者	倍率
アグリビジネス科	10	30	12	0.4倍
フードシステム科	31	9	7	0.8倍
合計	41	39	19	0.5倍

**◆平成25年度 第61回卒業証書授与式
～49名の集立ち～**

3月1日(土)厳粛な中にも温かい雰囲気の中、卒業式が執り行われました。小林康雄町長をはじめ多くのご来賓や保護者の方々が見守る中、谷口校長より一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は緊張しながらも笑顔で証書を受け取り、社会人と



の第一歩を踏み出しました。在校生を代表して2年生の都築くんと2年生の都築くんとが送辞を述べ、先輩方への感謝の気持ちを表しました。答辞で

は卒業生を代表して村田茉優さんが後輩へ託した思いや友人、担任、保護者や地域の方々への感謝の気持ちを心を込めて述べました。とても感動的な答辞で会場から大きな拍手が響き渡りました。

★ 士幌町中央中学校への出前授業

2月14日(金)中学校2年生を対象とした出前授業を行いました。十勝では、あまりなじみのないイネを題材としたバイオテクノロジーの技術、胚培養を体験しました。導入として、バイオ



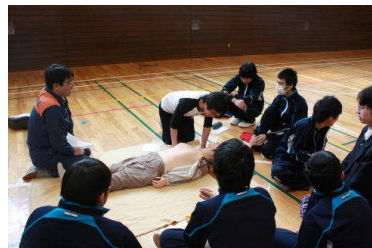
テクノロジーの基礎的な知識を学び、その後、イネの胚をメスで切り取り、培地に植え付けました。慣れないピンセットとメスの作業には、苦労していましたが、全員何とか植え付けることが出来ました。少々、理論的な部分では、むずかしいという感想が多くありましたが、体験は多くの生徒が楽しくできたということから、バイオテクノロジーについてのほんの一部分ではありますが理解してもらえたのかなと思っています。出前授業と一緒に指導してくれたアグリビジネス科2年の3名の生徒たちも、最初は緊張気味でしたが、徐々に慣れ、中学生相手に的確にアドバイスし、体験の手助けをしてくれました。中学生にとっても本校生徒にとっても学び多き体験になったのではないのでしょうか。

★ 普通救命講習の実施

3月7日(金)保健の学習内容に位置づけられております心肺蘇生法を、士幌消防署救急係の皆様にご協力いただき実施しました。

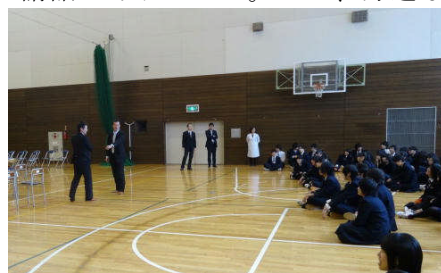
消防署員という職業についてのお話から始まり、士幌消防署に配備されております珍しいベンツの消防車の写真を見て盛り上がりました。なぜ心肺蘇生法の技能を身に付ける必要があるのか、心肺蘇生法や応急手当はどのように行うのかという真面目な理論の勉強をし、その後実際にダミー人形を使って心肺蘇生法の実習を行いました。消防署員の方から心肺蘇生法のデモンストラシ

ンを見せていただき、5グループに分かれて実際にダミー人形に心肺蘇生を行うのですが、気道確保が難しく、なかなか人工呼吸で肺に空気を送り込むことが出来ませんでした。また、最近配備が整っておりますAEDの使い方も学びました。この講習をとおり、身近な人間が救急救命を行うことの大切さ、そしてその技能を学ぶことが出来たので、もしもの時には心肺蘇生法を行ってくださると思います。



★ 防犯教室の実施

3月13日(木)帯広警察署から2名の講師を招いて1・2年生を対象に防犯教室が行われました。不審者による被害者の約20パーセントが高校生であり、犯罪の被害者にならないために大切なことは、危険な場所や時間を避けて行動することなどについて講話がありました。また、身近な



ところであった不審者情報などを「ほくとくん防犯メール」という登録制のメールで警察が配信しているのので、登録した上で防犯に役

立ててほしいとの情報もありました。後半では、様々な状況を想定した簡単な護身術を実演してもらい、生徒たちも不審者また被害者として護身術を体験するなど、いざというときの行動の難しさや大声を上げることの大切さなどが実感していたようでした。また、学校に不審者が侵入したときに使用する刺股(さすまた)の使い方についても教員と講師で実演し、うまく刺股を使えず苦戦する教員に思わず笑いが起こるなど真剣な内容とは裏腹に和やかな雰囲気の中、防犯室を終えることができました。

★ 科目「生物基礎」の豚内臓解剖実験

3月13日(木)2年生を対象に豚の内臓解剖実験を行いました。前段では、一頭の豚の命を糧として全力で学ぶことが、その命



あることを伝え、農業高校生として生命に対する尊厳を十分に意識させるよう配慮して実施しました。生物がいかにして内部環境を維持しているか(恒常

性)について学ぶ延長上で実施した今回は、授業では言葉や写真でしか見る事の出来ない実物が目の前にあることで、生徒自身も強い興味関心を持ちながら真剣に取り組む様子が見られました。

<生徒の感想から>

- ・教科書と見るのと違って各部位の色の違いなどがわかりやすかった。なかなか見る機会はないと思うので本当に良い経験になった。
- ・実物を見ると、図などで見るより構造がよく分かったし、身近に感じた。
- ・肺がピンク色に戻ったときは凄いなと思った。
- ・形だけなら家畜の教科書で見たことがあったが、肺がふくらんだらどれだけ大きいかを実感でき、また心臓や腎臓の内部を直に見ることができて、とても勉強になった。
- ・自分の体の中にもこのような臓器が入っていると思うと信じられない。生物ってすごい。